

11月の「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」に先駆けて、現状と最新データを報告します

メディアセミナーのご案内

「薬剤耐性(AMR)対策の 現状と取り組み 2018」 センターの活動と見えてきた臨床データ

毎年11月は、薬剤耐性(AMR)に係る全国的な普及啓発活動を推進するために設定された「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」です。

国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター(厚生労働省委託事業)では推進月間に先駆け、報道関係の皆さま向けに「薬剤耐性(AMR)対策の現状と取り組み2018」セミナーを開催いたします。

本セミナーでは、「薬剤耐性(AMR)アクションプラン」の現状と課題や、日本における抗菌薬の使用状況、AMRを取り巻く新しいシステムの紹介、意識調査の結果など、これまでの活動と今後の展望を交えてお話しいたします。皆さまが発信される報道を通じて、広く一般の方々に薬剤耐性(AMR)についての理解を深めていただきたいと思います。

つきましては、ご多忙かと存じますが、報道関係の皆さまのご来場を賜りますよう、心よりお待ちしております。

*AMR (Antimicrobial resistance) とは、病原体が変化して抗菌薬・抗生物質が効かなくなることです。

【日時】 2018年10月30日(火) 15:30～17:30（受付開始 15:00）

【場所】 TKP新宿モノリスカンファレンスセンター カンファレンスルーム11A

プログラム

15:30-15:50 AMR対策アクションプランの現状と今後の課題

AMR臨床リファレンスセンター センター長 大曲 貴夫 (おおまがりのりお)

15:50-16:10 薬剤疫学室について

● 抗菌薬使用量の現状

薬剤疫学室 室長 日馬 由貴 (くさま よしき)

16:10-16:30 臨床疫学室について

● J-SIPHE:感染対策連携共通プラットフォーム

主任研究員 田島 太一 (たじま たいち)

● 高齢者施設サーベイランス

主任研究員 鈴木 久美子 (すずき くみこ)

● ワンヘルス プラットフォーム

主任研究員 松永 展明 (まつなが のぶあき)

16:30-16:50 情報・教育支援室の取り組み

● 市民の意識調査からみえること

情報・教育支援室 室長 具 芳明 (ぐ よしあき)

16:50-17:30 * 質疑応答

取材のご案内

お手数ではございますが、ご参加の可否、貴社名等をご記入の上、**10月26日(金) 17:00**までにこちらのFAX返信用紙または下記メールアドレス宛にご返信下さいますようお願い申し上げます。

「薬剤耐性(AMR)対策の現状と取り組み2018」 メディアセミナーのご案内 FAX返信票

【開催日時】

2018年10月30日(火)
15:30~17:30 (受付開始 15:00)

【開催場所】

**TKP新宿モノリスカンファレンスセンター
カンファレンスルーム11A**
東京都新宿区西新宿2-3-1モノリスビル11F
TEL : 03-5320-8721
(JR新宿駅西口より徒歩7分)

【主催】

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
AMR臨床リファレンスセンター



*近隣にTKP新宿カンファレンスセンターがありますので
お間違いのないようご注意ください

FAX : 03-6730-9713 Email: info@kartz.co.jp

AMR臨床リファレンスセンター広報事務局 行

参加する

参加しない

貴社名 :

媒体名 :

部署名 :

ご芳名 :

計 名様

ご連絡先 TEL :

FAX :

MOBILE :

E-MAIL :

ご撮影 :

ムービー

スチール

ご掲載 :

掲載・放送予定(月 日) 掲載未定

ご質問や個別インタビューのご要望等ございましたら、ご記入ください。